

昔の街並み写真展示

～昭和10年代

【主な出来事】

- 江戸中期 大山詣りが流行し、新旧大山道の追分に三軒の茶屋（信楽、田中屋、角屋）がつくられ旅人の憩いの場として賑わう
- 明治40年 路面電車「玉川電気鉄道（玉電）」開通
- 大正12年 関東大震災
- 大正14年 玉電の支線として下高井戸線（現世田谷線）開通
- 昭和7年 東京府東京市世田谷区の成立（地名としての三軒茶屋）
- 昭和12年 府縣道第22号線（現世田谷通り）拡幅
- 昭和16年 太平洋戦争
- 昭和19年 世田谷に初めて空襲



明治43年3月30日発行 1万分1地形図「東京近傍十八号 世田ヶ谷」茶部分拡大 明治43年



大正15年6月30日発行 1万分1地形図「東京近傍十八号 世田ヶ谷」茶部分拡大 大正15年 提供：世田谷区立郷土資料館



昭和13年6月調査 3千分1地形図「34号ノ8 太子堂」茶部分拡大 昭和13年 提供：世田谷区立郷土資料館



玉川電気鉄道開通当時の三軒茶屋交差点 後方は三軒の茶屋のひとつ石練橋 明治37年 提供：東急株式会社



玉川電気鉄道のバスが渋谷方面から玉川方面へ向かう様子（現在のみずほ銀行付近）昭和初期 提供：東急株式会社

昭和20年代

【主な出来事】

- 昭和20年 三軒茶屋駅周辺に空襲、終戦
- 昭和25年 茶沢通り完成



玉川通りの様子（右手前が現在の栄通り入口付近）昭和25～26年頃 提供：世田谷区立郷土資料館



世田谷通りの様子（左手側が現在のキャロットタワー西隣付近）昭和25～26年頃 提供：世田谷区立郷土資料館



世田谷通り沿いにあった区庁作場 昭和20年代日



茶沢通りを上から望む 現在のSEIYUの位置には月賦百貨店の跡屋があった 昭和29年日